

第1回 平成23年04月19日(火)

第4期の一流塾が開塾しました。塾生の顔ぶれは起業者8名、後継者11名、経営幹部等23名の計42名、平均年齢は44.2歳で、様々な業種、企業規模の会社から志の高い経営者、経営幹部が集いました。



冒頭、一柳塾長から、「出でよ、志ある経営者たち」と題し、当塾では各界一流の“ホンモノ”の講師陣に触れ、襟を脱いだ交流を通じて、人間力の大切さを再認識し、近視眼的な事象にとらわれない全体最適適応力を培い、経営者として意思決定する際に相談できる、信頼できる仲間達を増やす機会にして欲しいと、塾生を激励しました。



塾長 一柳良雄



一流塾特別顧問
塩川正十郎氏



一流塾特別顧問
福川伸次氏



西川善文 講師



渡邊五郎 講師



特別ゲスト
前田新造氏

開塾式では、当塾特別顧問の塩川正十郎氏(東洋大学総長、元財務大臣)、福川伸次氏(機械産業記念事業財団会長、元通産省事務次官)、講師の西川善文氏(三井住友銀行名誉顧問、元日本郵政社長)、渡邊五郎氏(森ビル特別顧問、元三井物産副社長)にご出席頂きました。塩川氏から入塾の祝辞を頂き、日本は現在大変な状況にあるが、この状況を打破するために英知を集約して頑張りたいと塾生を激励しました。福川氏は、震災を契機に日本は今こそ改新しなければならない。改新の担い手は経営者であり、塾生の皆さんは当塾で大いに学び、頑張りたいと檄を飛ばされました。西川氏は、経営トップに求められる資質は、チャレンジ精神と決断力であり、本塾で先達の経験を大いに学んで欲しいと述べられました。渡邊氏からは、人とお付き合い、縁の大切さ等についてお話を頂き、当塾で巡り合った縁を大切に今後の人生に活かして欲しい、とのお話を頂きました。

その後、会場を移して行われた懇親会では、特別ゲストに資生堂代表取締役会長の前田新造氏をお招きしました。前田氏は、日本を発祥とし、アジアを代表する企業を目指し、価値感の多様性をキーワードとして経営の透明性を高めるために、社外取締役を積極的に登用している資生堂のコーポレートガバナンスに対する取組についてご披露頂きました。

初対面で緊張気味の塾生達も、従業員のモチベーションを維持するためにどんな工夫をしているのか？社外取締役の選任はどのようにしているのか？等の質問がありました。その後、塾長・講師を囲んでの歓談や、塾生同士の歓談が進むにつれて徐々に打ち解け始め、襟を脱いで大いに盛り上がりました。塾生からは、「人生の達人である“本物”の講師陣のお話を直に聞き、意見交換することが出来て大変刺激になった」、「思っていた以上に刺激的で興奮を覚えた」、「次回以降の講義や合宿が楽しみ」といった声が上がりました。